

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん：大動脈解離 Stanford A 型の開胸術後の方

1、研究の題名 『大動脈解離 Stanford A^{*1} の開胸術後患者の早期離床^{*2}が ADL^{*3} の回復に与える影響』

- * 1: Stanford A とは大動脈解離の分類のことです。
- * 2: 早期離床とはできるだけ早くベッドから離れて活動することです。
- * 3: ADL とは日常生活における活動のことです。

研究期間： 2020 年 2 月 18 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

2、研究の目的

当院に入院した大動脈解離術後の方の早期離床と ADL の回復との関連について検討すること

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間： 2010 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 6 月 30 日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録 から 以下の情報を取得します。

[患者背景] 年齢、性別

[検査所見] 血液検査、心エコー検査、術後・退院時の栄養評価

[病態] 病変部位の箇所、合併症の有無、術後翌日の重症度評価、併存疾患の有無
術中の経過

[リハビリ内容] 術後の起き上がり開始日数、起立開始日数、歩行開始日数、リハビリ
介入日数、術後 1 週目・術後 2 週目・退院転院時の日常生活活動

[アウトカム] 在院日数、退院先

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名) リハビリテーション部

(研究責任者名) 井本 俊之

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先) 0948-22-3800 (代表)

(担当者名) 理学療法士 大西 悠太郎